

## タブレットを使った地域学習

### ○小学生のうちから地域を学ぶ

総合の時間・地域学習の時間を用いて自ら進んで地域について知る。私は神川小学校出身であるが、当時はあまり地域について学習する機会がなく、興味や関心すら持っていなかった。長野大学の7~8割は長野県外から来ており地元民は少ない。私はその1人であるのに地域に興味を持ちはじめたのは大学に進学してからである。もっと早くから、小学生の頃から、地域に興味を持っていれば良かったなと思っている。学年に応じて地域学習の内容は違ってくるが、タブレットを用いて地域を学ぶことができればと考えている。

例えば、

低学年…神川地区を散策しながら気に入ったものや面白いものなどをタブレット端末を用いて写真を撮る。みんなの写真を見合う。

中学年…神川地区の歴史（例：信濃国分寺、山本鼎、蚕など）をネットで調べる。調べたことや感想をまとめる。

高学年…興味を持ったことを深掘りする。体験型学習（例：木彫など）を行う。

### ○授業の組み立て方

例えば、

[第1回] 神川地区・上田市ってどんなところだろう？

何がある？それはどんな物？

散策したりネットなどで調べてみよう。みんなで共有しよう。

[第2回] 昔はどのような地域だったのだろうか？

どんな人がどんなことをしたのだろうか？

図書館の資料から情報を集めよう。みんなで共有しよう。

[第3回] 山本鼎って誰だろう？

何をした人？どのような影響を与えた？

デジタル化した山本鼎の資料や図書館から情報を集めよう。みんなで共有しよう。

[第4回] 大正時代の絵を見てみよう。

見て感じたことや思ったことを挙げてみよう。

[第5回] 自由に絵を描いてみよう。

[第6回] みんなの絵を見比べて良い点や面白い点を挙げてみよう。

[第7回] 振り返り

### ○地域学習の支援の仕方

私が毎回は難しいと思うが、できるだけ顔を出し、児童が地域を学ぶお手伝いをする。体験型学習を行うために是非神川・山本鼎の会の方にも協力していただきたいと考えている。私たち学生や地域の方に昔のことや地域のことを教えてもらえるし、一緒に地域を学ぶことができるため関係を深めることができる。また、タブレットを用いた学習の教材として、神川小学校山本鼎の部屋のデジタル化した資料を利用できるため、学習しやすくなる。タブレットを用いた授業の提案や児童と地域探検を一緒に行うなど、児童たちが地域に関心を持つ種まきとしてお手伝いをしたいと考えている。